

Ku バンド 6.5m オフセット球面鏡マルチビーム地球局アンテナ

開口面アンテナの高能率化、低サイドローブ化の研究開発と同時に、ビーム偏移、マルチビームなどの機能を持つアンテナの開発に着手し、トーラス形鏡面を用いたビーム偏移アンテナを 1981 年（昭和 56）に試作した。このアンテナは、大きな主反射鏡を大地に固定し、補助反射鏡のみを動かしてアンテナビームを偏移させるもので、台風などによる運用障害がなく、保守運用も容易である。

また、91 年には、オフセット球面鏡を用いることによって、極めて高性能な Ku バンドマルチビーム地球局アンテナを開発した。マルチビーム地球局は、アンテナを共有することで、設置面積の節減、融雪装置等を含めた保守管理業務の一元化、通信設備構成の効率化など、経済性も高い。このマルチビーム地球局アンテナは、最大 4 ビーム構成の第 1 号商用機が大坂テレポートにおいて実用化された。

出典：KDD 社史